

## 平成19年度表彰について

社団法人におい・かおり環境協会  
表彰委員長 深 澤 修

平成19年度の表彰を平成20年度の定期総会において行うこととし、機関誌「におい・かおり環境学会誌」(平成19年9月号)および協会ホームページへの掲載により会員から表彰候補者推薦募集を行った。推薦された者の中から各賞選考部会における検討結果を受けて表彰委員会で審議し、以下のとおり各賞の受賞者を決定した。

### 1. 功労賞 (敬称略)

功労賞は本会の会員であり、本会の発展に貢献もしくは、臭気に関する分野において特に優れた功績を認められた個人に、贈呈されるものである。

#### ○ 井上昌知 社団法人におい・かおり環境協会 前専務理事 (受賞理由)

井上昌知氏は、専務理事及び顧問として会長をよく補佐するとともに、常に高い識見と先見性をもって会務にあたり、臭気対策アドバイザー制度や嗅覚測定器材推奨マーク制度の立上げなど当協会の発展 充実に尽くされた功績は誠に大きなものがあります。

### 2. 学術賞 (敬称略)

学術賞は本会の会員であり、においに関する論文、著作等学術的研究成果が特に優れた個人に、贈呈されるものである。

#### ○ 樋口能士 立命館大学 理工学部 環境システム工学科 准教授 (受賞理由)

樋口能士氏は、生物脱臭装置による悪臭物質除去に関する研究により数々の成果をあげるとともに、VOC除去に関する研究に先駆的に取り組み、VOCガス処理装置を開発するなど、その分野における中心的な役割を果たし、学術的に大きく貢献されました。

(参考資料) おい・かおり環境学会誌, 39(1), 24-35, 2008. おい・かおり環境学会誌, 37(2), 110-121, 2006. 臭気の研究, 30(6), 341-353, 1999.

### 3. 技術賞 (敬称略、順不同)

技術賞は本会の正会員、公共会員および賛助会員である法人、これらに所属する個人またはグループで、臭気に関する調査研究又は臭気対策技術等に関して顕著な貢献があったと認められる者に、贈呈されるもので次の2社に決定した。

○ **株式会社 西部技研** 代表取締役社長 隈 扶三郎

(受賞理由)

株式会社西部技研は、海外で実用化に至らなかった除去技術に独自の技術を応用して不燃性のハニカムロータ型回転式濃縮装置を開発し、VOCの濃縮を初めて実用化されるとともに、この技術により濃縮装置の分野における技術革新に大きく貢献されました。

○ **芳香消臭脱臭剤協議会** 代表 矢田 英樹

(受賞理由)

芳香消臭脱臭剤協議会は、一般消費者向け芳香消臭脱臭剤の有効性に対する評価法としての自主基準を定めるとともに、自主基準を満たす商品にのみ使用できる適合マーク制度を設け、業界全体のレベルアップと一般消費者が商品を選ぶ際の目安として大きく貢献されました。

4. **におい・かおり環境賞** (敬称略、順不同)

におい・かおり環境賞は本会の会員および会員外にかかわらず、良好なかおり環境の創出、保全に尽力し、地域のかおり環境の向上に顕著な貢献があったと認められる個人および団体等に、贈呈されるもので次の1県1館1法人に決定した。

○ **磐田市香りの博物館**

磐田市香りの博物館は、かおりに関する独創的な常設展示やイベント、かおりの調合体験など一般市民が体験し難いかおりの世界を体験できる工夫をこらし、かおりの文化・学術情報を発信し続けられ 良好なにおい・かおり環境の創出・保全、向上に貢献されました。

○ **奈良県** 知事 荒井 正 吾

奈良県は、「五感で楽しむ奈良」を掲げ、古都奈良の世界遺産や国宝、重要文化財などを、嗅覚をはじめとする五感により楽しんでもらえる観光資源として紹介する先駆的な試みを通じ、地域の良好なにおい・かおり環境の創出・保全、向上に貢献されました。

○ **特定非営利活動法人 森の生活** 代表 奈須 憲一郎

特定非営利活動法人森の生活は、モミなどの森林資源を生かしてツーリズムやセラピー、スローフード事業など多様な事業を地元自治体等とともに展開し、地域の活性化を図るなど、地域の良好なにおい・かおり環境の創出・保全、向上に貢献されました。